

No.5 知覚動詞

知覚動詞の基本形

知覚動詞+O+C 「O が C するのを知覚する」

※知覚動詞とは、感覚(視覚や聴覚など)に関する動詞のこと

知覚動詞の種類

- **see/look at/watch** 「見る」
- **hear/listen to** 「聞く」
- **feel** 「感じる」
- **notice** 「気づく」

知覚動詞の具体的な使い方

(i) 知覚動詞+O+原形 「O が～するのを知覚する」

(ex) I saw him play the guitar.

(私は彼がギターを弾くのを見た)

(ii) 知覚動詞+O+現在分詞 「O が～しているのを知覚する」

(ex) I saw her crying.

(私は彼女が泣いているのを見た)

(iii) 知覚動詞+O+過去分詞 「O が～されるのを知覚する」

(ex) I heard my name called.

(私は自分の名前が呼ばれるのを聞いた)

注意点

Cに原形が入る場合とCに現在分詞が入る場合とでニュアンスが変わる！

① Cに原形が入る場合

⇒ 行為の**一部始終**を知覚するという意味になる

(ex) I saw him cross the street.

(私は彼が通りを横切るのを一部始終見た)

② Cに現在分詞が入る場合

⇒ 行為の**一部だけ**を知覚するという意味になる

(ex) I saw him crossing the street.

(私は彼が通りを横切るのを一瞬見た)

OとCの関係をチェックしよう！

① Cに入るのが原形もしくは現在分詞の時

⇒ OとCは**能動関係**(OがCするという関係)

(ex1) I saw him play the guitar.

⇒彼が弾くという**能動関係**

(ex2) I saw her crying.

⇒彼女が泣くという**能動関係**

② Cに入るのが過去分詞の時

⇒ OとCは**受動関係**(OがCされるという関係)

(ex) I heard my name called.

⇒私の名前が呼ばれるという**受動関係**